I-O DATA

第29期環境報告書

IODATA ENVIRONMENTAL REPORT

アイ･オー･データは、地球市民の一員としてかけがえのない地球を守ることを企業の重要な使命と考え、地球保全活動に取り組んでいます。

- 当社は2001年7月に環境方針を定め環境保全活動の取り組みを開始しました。2002年1月に、(株) 日本環境認証機構からＩＳＯ１４００１の認証を取得し、事業活動と環境保全活動の融合を図りながら活動を進めてきました。
- この報告書は29期 (2003年7月～2004年6月) の取り組みにつきまして概要をまとめたものです。(一部2004年7月以降の情報を記載しています。)
- 報告書の中での27期は2001年7月～2002年6月
  28期は2002年7月～2003年6月を示します。
- 本社第1ビル、第2ビルの環境活動を記載しております。

株式会社アイ･オー･データ機器

I-O DATA

ご挨拶

インターネットを中心としたネットワーク社会の進展は、我々のライフスタイルを大きく様変わりさせています。ブロードバンドやモバイルPCを中心とした携帯情報端末機器の急速な普及により、いつでも、どこでも、誰でも、行政や金融、通信、医療、教育、交通に至るまでカスタマイズされたサービスを簡単に利用できる「ユビキタス･ネットワーク」が実現されようとしています。

当社は「時代の一歩先を行く技術力」「市場を半歩先取りする独創的な製品創り」による情報社会の貢献を企業理念とすると共に、と地球環境の保護･保全が世界的な重要課題であることを認識しております。

開発活動においては、お客様の環境負荷を少しでも低減すべく、低消費電力化、３R（リデュース、リユース、リサイクル）を考慮した環境配慮型の製品の創出に注力し、また事業活動においては省エネ、省資源、廃棄物を抑制し社会全体の発展に寄与してまいりたいと考えております。

当社では今後も環境負荷低減活動を継続的に推進すると同時に、従業員が地域社会の一員であることの自覚を持って、全員参加の環境改善活動を進めてまいります。

この報告書は、アイ･オー･データが29期に実施した環境活動、及び実績を紹介したものです。皆様から忌憚のないご意見をいただければ幸甚に存じます。

株式会社アイ･オー･データ機器

代表取締役　細野　昭雄

会社概要

- 社名　株式会社アイ･オー･データ機器
- 設立　昭和51年1月10日（1976年）
- 代表者　代表取締役　細野　昭雄
- 所在地　石川県金沢市
- 資本金　35億8,807万円
- 売上高　728億7,000万円
- 株式　JASDAQ 上場（コードＮｏ．６９１６）
- 事業所　東京･大阪･札幌･仙台･横浜･名古屋･広島 福岡･ I･OプラザＡＫＩＢＡ
- 子会社　國際艾歐資訊股份有限公司 艾歐資訊横山(香港)有限公司
- 関連会社　I-O DATA DEVICE USA,INC. I-O & YT Pte. Ltd.(シンガポール) クリエイティブ･メディア株式会社
- 本社第1ビル　920-8512 金沢市桜田町3丁目10番地
- 本社第2ビル　920-8513 金沢市桜田町2丁目84番地
- 事業内容 パソコン周辺機器の開発、製造、販売
- 従業員数　５６５名（平成16年6月現在）
- 本社敷地面積　19,507㎡（駐車場含む）
- 建屋延床面積　19,582㎡

I-O DATA

製品ラインナップ(1)

ストレージ(記憶装置)

DVDドライブ

CD-RW&DVD-ROMドライブ

ハードディスクドライブ

ポータブルハードディスク

リムーバブル・ハードディスク

MOドライブ

FDドライブ(鉛フリー)

ケーブル類

ソフトウェア

マルチメディア

TVチューナー&キャプチャー

ネットワークメディアプレーヤー

ハードディスクレコーダー

TV出力

ムービーカメラ

USBカメラ

MP3プレーヤー

グラフィックボード

メモリー

デスクトップ用メモリー

ノートパソコン用メモリー

サーバー・プリンタ用メモリー

鉛フリー・ハロゲンフリーメモリー

インターフェース

コンビネーションカード

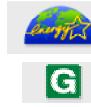
インターフェースカード

I-O DATA

製品ラインナップ（2）

液晶ディスプレイ

TVチューナー搭載
液晶ディスプレイ

タッチパネル付き
液晶ディスプレイ

液晶ディスプレイ(15,17,19,20.1型)

コンパクト･プロジェクター

ECO&ネットワークセンサーボックス

ネットワーク

無線LANルーター

有線ルーター

無線アクセスポイント

USBプリントサーバ

ネットワーク接続ハードディスク

ネットワーク接続ミラーリングハードディスク

スイッチングHUB

ネットワークカメラ

無線アンテナ

メモリーカード･USBメモリー

コンパクトフラッシュ

SDメモリーカード

スマートメディア

リーダーライター

USBメモリー
（Easy Disk）

Easy Disk Light

ケータイ･通信

ハンズフリーキット

ケータイサイトGPS

環境方針

当社は2002年1月にＩＳＯ１４００１の認証を取得し3年を経過いたしました。30期首（2004年7月）、より環境に対する取り組みを推進すべく、新しい環境方針を制定いたしました。制定した環境行動指針を基にシステムの維持管理を含めて環境保全活動を推進します。

【環境方針】

「事業活動と自然との調和共生」

アイ・オー・データ機器は、パソコン周辺機器のリーディングカンパニーとして、何よりも顧客満足向上を第一に考え、「時代の一歩先行く技術力」、「市場を半歩先取りする独創的な製品創り」による情報社会への貢献を企業理念とすると共に、地球環境の保護・保全が世界的な重要課題であることを認識し、全社員参加による環境保全活動を独創的な製品の開発と持てる技術力を駆使し、事業活動と自然との調和共生を目指す

株式会社アイ・オー・データ機器

代表取締役　細野　昭雄

【環境行動指針】

1. 環境監査の実施、環境委員会活動により環境マネジメントシステムの継続的な改善を図り、地球環境の保全・汚染の予防に努める
2. 環境に関連する法律や業界の自主規制を遵守し、利害関係者の環境への要求事項に対して積極的に取り組む
3. 環境目的及び環境目標を定め、技術的・経済的に可能な範囲で環境に配慮し以下の活動を実施する

① 省エネルギー、省資源及び3R（リデュース、リユース、リサイクル）を考慮し、独創的な製品を開発する。

② 自然環境の汚染と健康被害につながる有害な化学物質を極力含有しない製品のサプライチェーンをグリーン購入活動により構築する

③ 電力・灯油などの省エネ活動を実施し地球温暖化ガスの排出抑制に努める

④ 資源の有効利用を図るために廃棄物の発生抑制・リサイクル化の推進・リサイクル品の購入に努め、持続可能な社会形成に貢献する

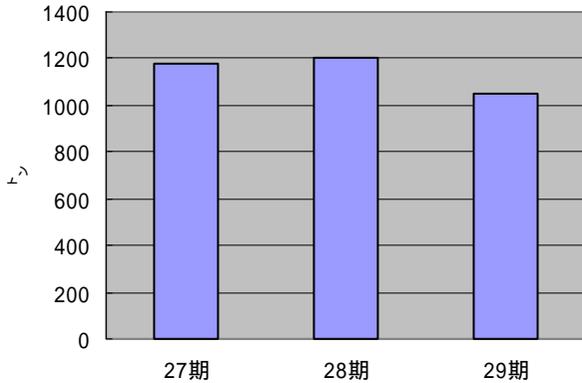
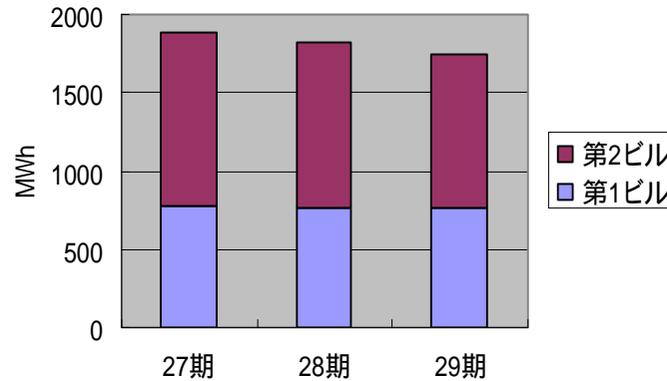
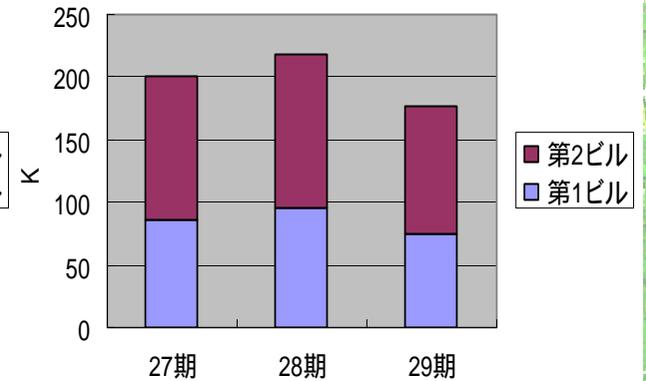
4. 全社員が環境問題の理解に努め、地球環境に対する意識向上を図る
5. 環境方針は全社員に周知するとともに社外にもインターネットにより公開する

I-O DATA

29期の取り組み及び結果

No	項目		目標	結果	評価
1	事業活動で消費するエネルギー・資源（廃棄物）への環境配慮				
	①	電力・灯油の使用量削減（27期比CO2換算での削減率）	2.0%	10.6%	☺
	②	廃棄物（不要物）の削減（26期比の削減率）	15.0%	44.0%	☺
2	製品での環境配慮				
	①	製品の省電力（低消費電力配慮製品の開発）	2製品以上	2製品	☺
	②	梱包材の削減（ネットワーク製品の梱包体積の削減）	累積10製品	10製品	☺
	③	鉛フリー（鉛フリー製品の開発）	1製品以上	1製品	☺
	④	紙の削減（出荷製品の紙使用量の削減（取説のHTML化率））	40.0%	57.4%	☺
	⑤	環境アセスメントの改善（液晶ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲの製品ｱｾｽﾒﾝﾄの実施）	4製品	15製品	☺
3	購入する物品での環境配慮				
	①	製品・部材の購入（グリーン購入を満たす製品数）	累積15製品	15製品	☺
	②	事務用品の購入（グリーン購入基準を満たす物品の購入比率）	58.0%	60.0%	☺
4	販促活動での環境配慮				
	①	総合カタログの紙資源の削減（前年比、年間総重量換算での削減率）	20.0%	18.4%	☹
5	地域の環境保全活動への貢献				
	①	地域貢献（貢献活動の実施回数）	1件以上	0件	☹

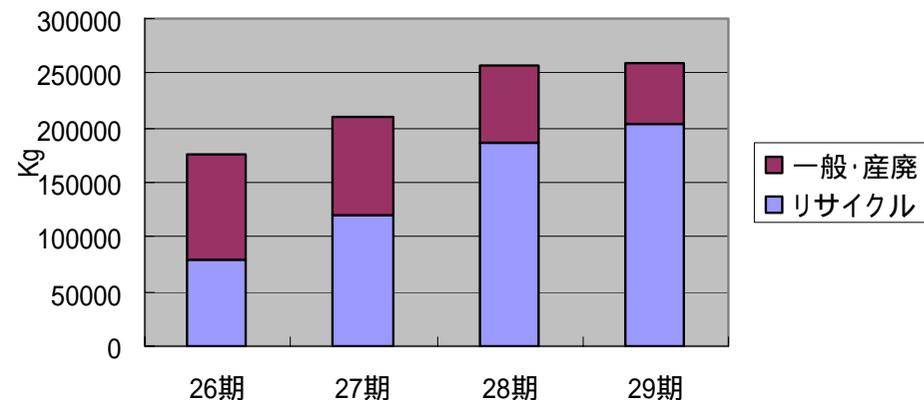
電力･灯油の削減状況

CO2換算での使用量

電力の使用量

灯油の使用量

電力･灯油の削減		27期	28期	29期	30期（予定）
26期比一人当たりの削減率	目標	2%以上	6%以上	－	
	結果	7%	1.5%	－	
27期比CO2換算での削減率	目標	－	－	2%	6%
	結果	－	－	10.6%	
電力使用量	1,000kwh	1,882	1,828	1,751	
灯油使用量	リットル	200,000	217,900	169,000	
CO2排出量*	t-CO2	1,174	1,200	1,049	

*CO2排出量は当社の主要なエネルギー源である、電力･灯油の使用量をCO2換算いたしました。

電力･灯油の使用量については、28期までは1人当たりの使用量の削減を目標としました。27期は目標を達成出来ましたが、28期は天候の影響もあり改善が進まず目標を達成出来ませんでした。29期は地球温暖化防止計画のCO2換算での排出量を目標としました。設定した目標は達成しましたが、具体的な新しい取組みが実施出来なかったため改善が進んでいるとは言えない状況でした。しかしながら全社として29期は電力･灯油の使用量は削減されておりました。30期はCO2換算での6%削減を目標に、時間指定での空調使用の停止などの施策を実施いたします。

I-O DATA

廃棄物の削減状況

廃棄物の排出量

廃棄物（不要物）の削減		27期	28期	29期	30期（予定）
26期比削減率	目標	10%	10%	15%	－
	結果	8% ☹	26% ☺	44% ☺	－
廃棄物のリサイクル率	目標	－	－	－	80%
	結果	57%	72%	79%	
一般・産業廃棄物（不要物）の排出量	Kg	89,860	71,790	55,153	
総排出量	Kg	210,469	257,307	259,349	

廃棄物については、輸送用のパレットリサイクルやミックスペーパー、紙コップも分別など期を重ねる毎に大きく削減できていることがわかります。

30期は廃棄物の保管場所の仕分け方法の検討をおこない、一層分別・リサイクルに取り組むと共に総排出量の削減も目指します。

製品での環境配慮

低消費電力配慮製品の開発

HDZシリーズ

従来のHDで採用していた、電源連動機能・出荷時フォーマット済みは踏襲し、さらにユーティリティソフトをバンドルし、搭載した4台のドライブのスタンバイ突入時間の設定をコントロールできるようにしました。これにより、アクセス頻度の低いドライブをスタンバイ設定とすることで、消費電力の低減を図ることができます。また、ファンコントロール回路も搭載しており、筐体内温度が低い場合は、ファンが動作せず、省電力・静音に貢献しました。

MOHシリーズ

USBバスパワー対応MOドライブとして、従来品よりより小型を図った製品。

筐体サイズが旧モデルと比べて約62%と、大幅な小型化。さらに、旧モデルではUSBバスパワーで動作しない場合に備えて、オプションでACアダプタが接続できる構造となっていたが、本製品ではジャックを廃止し、よりUSBに特化した設計となりました。

鉛フリー製品の開発

環境にやさしい
鉛フリー・ハロゲンフリー メモリー。

鉛フリー
ハロゲンフリー

<鉛フリーメモリー>

廃棄時に酸性雨によって鉛が地下水や河川に溶け出して、環境に多大な影響を与えないためにEU圏では2006年より電子部品への鉛などの有害物質使用制限「RoHS指令」を決定しました。日本国内でのガイドラインを策定したJEITA(電子情報技術産業協会)では、鉛削減を促進するために段階的な導入を行っており、鉛フリーの度合いによりPhase1～3を設けています。中でも、**アイ・オーでは半導体部品(DRAM含む)、PCB基板の全てにおいて鉛フリー(Phase3A)を実現し、さらに従来のメモリーモジュールと変わらない品質を実現しています。**

<ハロゲンフリー>

プリント回路基板の実装および部品封止材料として用いられるハロゲン(塩素、臭素)は焼却されることでダイオキシンを発生させ大気汚染などを引き起こします。塩素、臭素の含有量を抑制し環境負荷を低減します。

梱包体積の削減

ET－FSWH8S2のモデルチェンジ時に梱包材を再設計し体積を37%削減しました。

梱包体積を37%削減

取説のHTML化

取説のHTML化に取り組み、29期の出稿取扱説明書261製品に対して150製品のHTML化を行いました。

HTML化による紙資源の削減量は、設計ベースで約3,365頁、出荷ベースでは42,255,000頁と大規模な紙資源の削減となりました。

また、簡単ガイドを添付し通常の設定はこのガイドで出来るようにしました。これによりサポートへの問い合わせ件数も減りました。

I-O DATA

購入する物品での環境配慮

製品部材の購入

製品・部材の購入		27期		28期		29期	
グリーン購入を満たす製品数	目標	5製品以上		10製品以上		15製品以上	
	結果	8製品	☺	10製品	☺	15製品	☺

製品・部材の購入では環境に配慮していると判断する基準を設けてその基準にあった物の割合に対して目標定め購入するように努めています。また30期はグリーン購入基準を見直し、より安全で環境にやさしい製品・部材を優先的の調達するように努めます。

事務用品の購入

事務用品の購入		27期		28期		29期		30期
グリーン購入基準を満たす物品の購入（金額）	目標	10%		55%		58%		60%
	結果	50%	☺	59%	☺	60%	☺	－

事務用品の購入については、社内で使用するコピー用紙、封筒、文房具類を、再生紙や各メーカがエコロジー商品として販売しているアイテムなど、環境にやさしい事務用品を購入するように努め目標を達成しております。

販促活動での環境配慮

総合カタログの紙資源の削減

紙資源の削減		28期		29期	
総合カタログの紙資源の削減	目標	10%以上		20%以上	
	結果	14.4%	☺	18.40%	☹
総重量	トン	676		552	

販促活動に使われる総合カタログはお客様にご利用頂いています貴重な情報提供手段です。多くの販売店様に配布され多くの紙資源を消費します。このような販促物においても環境に配慮し紙資源の削減に努めました。
Webを有効に活用しカタログ内容をリニューアルしました。この活動により総ページ数の削減が出来ました。また、紙質を見直しより薄い紙を採用することにより1箱に入るカタログ部数が100部から150部となり配送コストの削減にも寄与いたしました。
使用インキでも大豆油インキを使用するなど環境に配慮して作られています。
また、企業活動や製品での環境配慮事項を紙媒体以外での情報発信を心掛けるなど販促活動の分野でも環境配慮を行います。

I-O DATA

今後の取り組み

当社は30期首に、より環境に対する取り組みを推進すべく、新しい環境方針を制定しました。(5ページ)

30期は、この方針を基にシステムの維持管理を含めて、環境保全活動を推進します。

- 製品の環境配慮設計を推進します。
  - 各製品グループ毎に環境配慮事項を定め設計の段階から環境に配慮した製品創りをします。
- グリーン調達を推進します。
  - 製品・部品の調達において環境に配慮している取引先からの調達を行います。
  - 部品の化学物質管理を行い、31期上までにＲｏＨＳ指令物質を全廃します。
- 省エネを推進します。
  - 電気・灯油の使用量をＣＯ２換算で27期比6%削減します。(32期10%削減)
- 資源の有効利用を図ります。
  - 廃棄物のリサイクル化を推進し、リサイクル率を80%以上にします。(32期82%以上)
  - 事務用品のグリーン購入比率を60%以上にします。
- 環境問題への意識向上を図ります。
  - 環境報告書を発行します。(2005年9月予定)
  - 地域貢献活動を実施します。

I-O DATA

アイ･オー･データ機器の環境活動

http://www.iodata.jp/sp/green/

株式会社アイ･オー･データ機器

〒９２０－８５１２

石川県金沢市桜田町3丁目10番地

お問い合わせ先

技術支援部技術管理2グループ

E-mail： environment@iodata.jp